



平成 21 年 7 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社アイ・オー・データ機器
代表者名 代表取締役社長 細野 昭雄
(J A S D A Q ・ コード 6 9 1 6)
問合せ先
役職・氏名 社長室 室長 真田 秀樹
電話番号 076-260-3377

業績予想の修正及び営業外損失の計上に関するお知らせ

I. 平成 21 年 6 月期の業績予想の修正について

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 2 月 12 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 平成 21 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 7 月 1 日 ~ 平成 21 年 6 月 30 日) (単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 21 年 2 月 12 日 発表)	46,300	△500	△700	△740
今 回 修 正 予 想 (B)	45,800	△730	△1,000	△1,050
増 減 額 (B-A)	△500	△230	△300	△310
増 減 率 (%)	△1.1	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 6 月期)	62,968	2,093	1,816	1,166

2. 平成 21 年 6 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 20 年 7 月 1 日 ~ 平成 21 年 6 月 30 日) (単位: 百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 21 年 2 月 12 日 発表)	46,000	△950	△880	△830
今 回 修 正 予 想 (B)	45,700	△1,290	△1,250	△1,200
増 減 額 (B-A)	△300	△340	△370	△370
増 減 率 (%)	△0.7	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 6 月期)	61,476	1,560	1,829	1,249

3. 修正の理由

売上高につきましては、昨年後半からの需要減退と販売価格の低下が重なる厳しい事業環境が続くとの見通しの下、第3四半期までは概ね予想に沿って進捗しておりましたが、第4四半期に入り、各種経済対策施行の影響も受け、これまで冷え込みが著しい法人需要に対し比較的好調に推移していた一般向けのパソコン増設需要が減速したほか、液晶製品においてモデルチェンジに間隙が生じたことから、売上高は前回予想を下回る見通しとなりました。

営業利益につきましては、グループ一丸となり原価低減や経費節減に懸命に取り組み、採算性は改善に向かい始めたものの、前述の売上高の減少と需要鈍化にともなう価格競争の進展が売上高総利益率の低下に繋がり、前回予想を下回る見通しとなりました。また、経常利益および純利益につきましては、営業利益の減少に加え、営業外費用に為替変動にともなう為替差損3億50百万円の発生が見込まれますことから、前回予想を下回る見通しとなりました。

なお、個別業績予想につきましては、上記連結と同様の理由にありますものの、売上高総利益率の低下が相対的に進んだ影響により、利益の減少額は連結に比べ拡大する見通しであります。

II. 営業外損失の計上について

上記I. でも述べたとおり、期中における為替相場の変動の影響により、通期連結で3億50百万円の為替差損が発生する見通しです。

(注) なお、この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績等は状況の変化により、この資料に記載されている予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。

以 上